

2023 年度 KSEA

# 関西教育行政学会 会報 第 6 号

〒 606-8501  
京都市左京区吉田本町  
京都大学大学院教育学研究科内  
関西教育行政学会事務局  
TEL & FAX: (075)753-3080  
Mail: kansaisea@gmail.com  
ホームページ <http://ksea.jp/>

The Kansai Society for Educational Administration

## ■□■ 2023 年度第 39 回大会のご案内 ■□■

【日時】 2023 年 12 月 3 日（日）午前 10 時から午後 5 時 50 分

【場所】 ハイブリッド開催（京都大学吉田キャンパス総合研究 2 号館・Zoom）  
※総会是对面会場のみ

### 【大会参加要領】

#### 1. 事前申し込み

11 月 26 日（日）までに、以下の URL からご出欠を回答してください。

当日参加も可能ですが、会場設営の都合上、できる限りご回答をお願いします。

#### 2. 受付

対面：9 時 30 分から、総合研究 2 号館にて行います。

オンライン：受付は行いません。各時間とも 10 分前より入室開始を予定しております。

※大会参加費は無料です。

※大会会場での学会費の支払いは受け付けておりません。

#### 3. 大会プログラム

大会プログラムは会場にて配布いたします。また、12 月 1 日（木）以降に以下の URL にて公開いたします。アクセスの上、ダウンロードしてください。

※報告資料については、当日の発表時間までに上記リンクから公開いたします。

#### 4. 昼食について

当日、学内の食堂は休業しております。

会場周辺の飲食店をご利用いただくか、各自お弁当をご持参ください。

### 【会場案内】

「京都大学吉田キャンパス 総合研究 2 号館」

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 Tel 075-753-2700

## 京都大学吉田キャンパスへのアクセス

### 【路線案内】

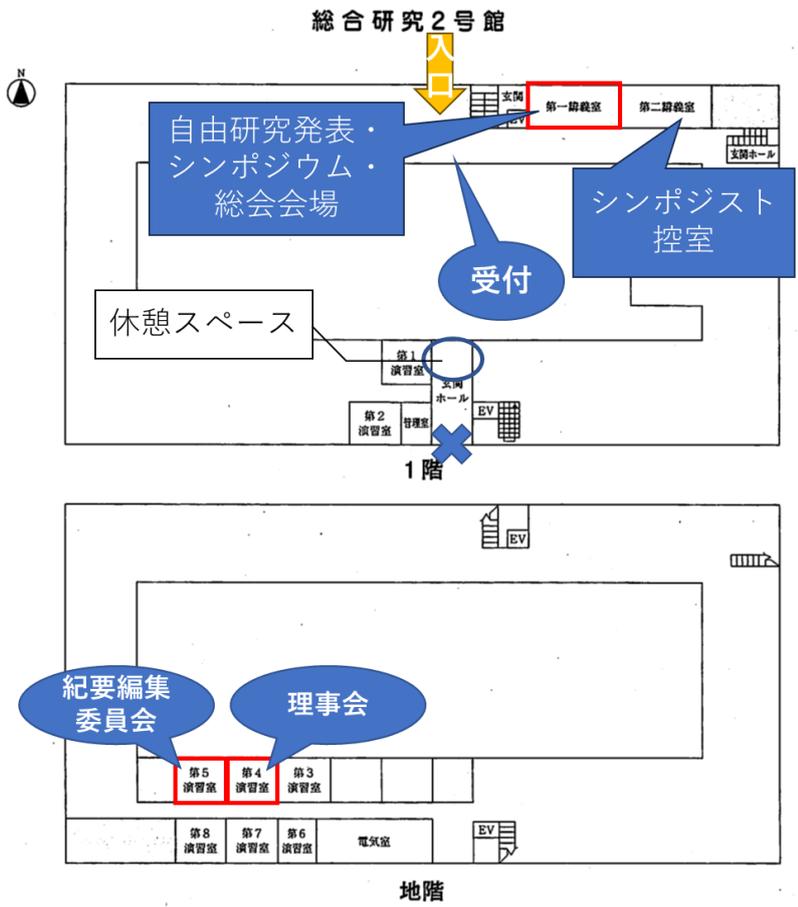
主要鉄道	利用交通	乗車バス停	市バス	市バス経路	所要時	下車バス停
JR/近鉄 京都駅から	市バス	京都駅前	□ 206系統	「祇園・北大路バスターミナル」行	約35分	京大正門前 または百万遍
			□ 17系統	「四条河原町・銀閣寺」行	約35分	百万遍
阪急 河原町駅から	市バス	四条河原町	□ 201系統	「祇園・百万遍」行	約25分	京大正門前 または百万遍
			□ 31系統	「高野・国際会館駅・岩倉」行	約25分	京大正門前 または百万遍
			□ 17系統	「出町柳駅 百万遍 銀閣寺」行	約25分	百万遍
			□ 3系統	「北白川仕伏町（上終町・京都造形芸大）」行	約25分	百万遍
地下鉄 烏丸線 烏丸今出川駅から	市バス	烏丸今出川	□ 203系統	「銀閣寺・錦林車庫」行	約15分	百万遍
			□ 201系統	「百万遍・祇園」行	約15分	百万遍 または京大正門前
地下鉄 東西線 東山駅から	市バス	東山三条	□ 206系統	「高野・北大路バスターミナル」行	約20分	京大正門前 または百万遍
			□ 201系統	「百万遍・千本今出川」行	約20分	京大正門前 または百万遍
			□ 31系統	「高野・国際会館駅・岩倉」行	約20分	京大正門前 または百万遍
京阪 出町柳	徒歩	(東へ)			約20分	
	市バス	出町柳駅前	□ 201系統	「百万遍・祇園」行	約10分	百万遍 または京大正門前
			□ 17系統	「銀閣寺・錦林車庫」行	約10分	百万遍

※上記路線図は京都大学 HP ([http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/yoshida/map6r\\_y/](http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/yoshida/map6r_y/)) より引用いたしました。

京都大学吉田キャンパス総合研究2号館の周辺地図



京都大学吉田キャンパス総合研究2号館の館内図



## 忘年会のご案内

【日時】2023年12月3日（日） 午後6時30分より

【会費】5,000円程度（忘年会会場にてお支払いください）

※参加人数により多少変動する可能性があります

【会場】百万遍 しゃらく（〒606-8225 京都市左京区田中門前町 59）



（上図は、Google マップ (<https://www.google.com/maps>) より引用しました。）

## 【大会日程】

開始時刻	内 容	会 場
9 時 30 分～10 時 00 分【受付（対面のみ）】		総合研究 2 号館 第一講義室前
10 時 00 分～【自由研究発表】	「新型コロナウイルス感染症対策下における学校教育活動の実態 —長期臨時休業を含む 2020 年度の全国小中学校調査結果より—」 ○棚野 勝文 会員（岐阜大学） 吉澤 寛之 氏（岐阜大学） 長倉 守 氏（岐阜大学） 芥川 祐征 氏（岐阜大学）  「教育行政機関の ICT 活用普及政策—「キャズム理論」による考察—(仮)」  山口 陽子 会員（京都大学大学院・院生）	【対面】 総合研究 2 号館 第一講義室  【オンライン】
12 時 00 分～【昼食】 会場周辺の飲食店をご利用いただくか、弁当をご持参下さい。		
12 時 00 分～12 時 30 分 〈紀要編集委員会〉		総合研究 2 号館 第 5 演習室
12 時 40 分～13 時 40 分 〈シンポジウム打ち合わせ〉		総合研究 2 号館 第二講義室
12 時 45 分～13 時 35 分 〈理事会〉		総合研究 2 号館 第 4 演習室
14 時 00 分～【大会シンポジウム】	「ネットワーク型行政の推進に伴う社会教育経営の課題と展望 ～地域における社会教育の固有性について考える～」  シンポジスト： 惣脇 宏 会員（京都産業大学） 岩元 義継 氏（大阪府豊中市教育委員会・教 育長） 赤尾 勝己 氏（関西大学）  ファシリテーター： 高田 一宏 会員（大阪大学） 宮村 裕子 会員（畿央大学）	【対面】 総合研究 2 号館 第一講義室  【オンライン】
17 時 00 分～【2023 年度総会】		【対面】 総合研究 2 号館 第一講義室 (対面のみで開催で す)
18 時 30 分～【忘年会】〈会費〉5,000 円程度（予定）		百万遍 しゃらく

## 【大会シンポジウム趣旨】

### ネットワーク型行政の推進に伴う社会教育経営の課題と展望 ～地域における社会教育の固有性について考える～

生涯学習社会における社会教育行政に対しては、90年代の終わり以降、人々の学習活動や社会教育活動を様々な立場から総合的に支援していく仕組みとしての「ネットワーク型行政」を構築する必要性が要請されてきた。この流れは継続され、個別の社会教育施設において行政サービスを提供する従来の「自前主義」からの脱却を促し、「社会教育行政の再構築」が求められてきた。しかし、そのための取り組みは不十分であるとして、2018（平成30）年12月の中央教育審議会「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について（答申）」では、「ネットワーク型行政の実質化に正面から取り組み、人づくり・つながりづくりを通じた地域づくりの基盤を、首長部局等と共に構築していくことが今こそ必要」と述べられた。

こうした「ネットワーク型行政」の推進に関する法整備や社会教育行政をめぐる近年の動向として、例えば、「地域学校協働活動」の制度化（2017年）や、公立社会教育施設の首長部局への特例的移管（2019年）、称号としての「社会教育士」の制度化（2020年）等が挙げられる。さらに、2022（令和4）年8月の「第11期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理」では、「…生涯学習・社会教育に関わる多種多様な関係機関・関係者が（中略）取組を積み重ね、多様なニーズを持つそれぞれの人の学習機会を保障し、学習の当事者としての個人の自主的・積極的な学びを支えることで、個人や集団、ひいては地域コミュニティにおけるウェルビーイングを高めることができる」と述べられており、社会教育行政の守備範囲やその在り方自体に改めて様々な検討課題を投げかけるものとなっている。また、第4期教育振興基本計画（2023年～）には、「基本的方針3：地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進」、「目標10：地域コミュニティの基盤を支える社会教育の推進」等が盛り込まれており、各地域の実情に応じた具体的な施策が今日求められている。

本来、社会教育は実践や地域性を重視してきたというが、他方で社会教育行政の曖昧さや脆弱性も認識されてきた。昨今、文部科学省以外の省庁による「地域」に焦点化した各種の取り組みが展開されており、「社会教育」との置き換えにも違和感がない状況が見られ、「社会教育ではない社会教育」がすでに社会教育の実態を構成しているという指摘もある（牧野篤・2022）。首長部局への移管も可能とする社会教育施設の再編や、従来の枠組みにとらわれない社会教育人材活用への期待、隣接する多様な領域（まちづくり・観光等）との連携・協働を視野に入れた総合的な環境整備が求められるなかで、果たして社会教育ならではの固有性は存在し得るのであろうか。社会教育をめぐる資源が非常に厳しい状況に置かれる今日において、「ネットワーク型行政」は地域における社会教育の振興や活性化にどのような作用をもたらし、変化への対応を通じて社会教育がいかにして価値を発揮し得るのか、その課題と展望について検討を試みたい。

本シンポジウムのスピーカーには、文部科学省生涯学習政策局主任社会教育官を務められたご経験を踏まえて国の社会教育行政の推移に着目して話題提供をいただく惣脇宏会員、中核市における教育長として社会教育の在り方の検討に着手されている岩元義継氏、生涯学習理論研究を基盤として社会教育人材の養成にも尽力されている赤尾勝己氏のお三方をお迎えする。本学会のシンポジウムでは「司会」を置くことが通例であるが、社会教育というテーマに鑑みて、今回は敢えて「ファシリテーター」として議論の促進・調整等を担当する。

大会担当理事 宮村 裕子

## 【シンポジスト】

1. 社会教育行政研究の立場から：惣脇 宏 会員（京都産業大学）
2. 市町村教育委員会の立場から：岩元 義継 氏（大阪府豊中市教育委員会・教育長）
3. 生涯学習理論研究の立場から：赤尾 勝己 氏（関西大学）

## ■□■□■□■ 紀要編集委員会からのお知らせ ■□■□■□■

### 【編集委員会の構成】

編集委員長 服部 憲児（京都大学）  
編集副委員長 高田 一宏（大阪大学）  
編集委員 浅田 昇平（四天王寺大学）  
同 大谷 奨（筑波大学）  
同 吉田 武大（関西国際大学）  
編集幹事 松本 圭将（びわこ成蹊スポーツ大学）  
編集委員会事務局 連絡先  
住所 〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院教育学研究科内  
関西教育行政学会紀要編集委員会事務局  
TEL・FAX 075-753-3080  
メールアドレス kseakiyou@gmail.com

### 【『教育行財政研究』論文投稿要領】

1. 『教育行財政研究』論文には、「自由研究論文」と「研究ノート」が含まれる。
2. 「自由研究論文」は、本学会の当該年度および前年度の例会（1月～12月）において口頭発表したものとする。
3. 「研究ノート」は、「自由研究論文」に馴染まない「外国の教育事情の紹介」「文献紹介」「実践報告」「時事評論」等を内容とする。
4. 論文は未発表のものに限る。ただし、口頭発表及びその配布資料はこの限りでない。
5. 編集委員会が特に指定する場合を除き、「自由研究論文」は、本紀要10頁（46字×37行）以内、「研究ノート」は5頁（46字×37行）以内とする。ただし論文タイトル及び氏名・所属に7行とり、本文は8行目からはじめる。この枚数には、図・表・註・引用文献・参考文献等を含むものとする。著者は、引用文献・参考文献リストを本文・注と別に作成・提出すること。但し、提出は採録決定後でも可とする。引用文献・参考文献リストの書式は、原則として科学技術振興機構のSIST02 ([http://jipsti.jst.go.jp/sist/pdf/SIST\\_booklet2011.pdf](http://jipsti.jst.go.jp/sist/pdf/SIST_booklet2011.pdf)) に従うものとする。
6. 論文原稿には、(1) 英語による論文題目、執筆者名及びその所属、(2) 英文アブストラクト（45字×18行）を添付する。
7. 原稿はPDFファイルの形式で、電子メールの添付書類として提出する。原稿は、A4版用紙に横書きで46字×37行とし、ワープロソフト(Word、一太郎等)により作成する。審査の上、掲載可と判断された場合、改めて原稿の電子データを電子メールの添付書類として提出する。その際の形式はワープロソフトのままの形式とし、PDFファイルは認めない。
8. 論文の投稿については、紀要編集委員会に対して毎年11月30日17時までに投稿の意思表示（所定の申し込み用紙による）をし、1月10日17時までに原稿を提出するものとする。
9. 本誌に掲載された論文等の著作権については、本学会に帰属する。また、著作者自身が、自己の著作物を利用する場合には、本学会の許諾を必要としない。採択された論文等はオンラインで公開される。

### 【紀要第51号への投稿申込について】

『教育行財政研究』第51号（2024年3月発行予定）への「自由研究論文」及び「研究ノート」への投稿申し込みを受け付けます。「自由研究論文」への投稿資格は、2022年1月例会から2023年12月大会において発表した会員です。なお、「研究ノート」は、その性質上、例会・大会でいまだ発表していない場合でも投稿可能です。

投稿資格を有し、かつ投稿を希望する会員は、所定の申し込み用紙に必要事項を記入の上、件名「投稿申込」として11月30日（木）17時までに編集委員会の専用メールアドレス（[kseakiyou@gmail.com](mailto:kseakiyou@gmail.com)）までメール添付でお送りください。所定の申し込み用紙は、学会HP（<http://ksea.jp>）からダウンロード可能です。なお、原稿の投稿締め切りは2024年1月10日

(水) 17 時です。ご不明な点などございましたら、事務局までお問い合わせください。

### 【紀要審査手続きについて】

編集委員長は、理事会の同意を経て会長が委嘱し、編集委員長は、専門分野や経歴等勘案して編集委員若干名を推薦し、理事会の同意を経て委員を委嘱します。

このようにして構成された編集委員会が、期限までに提出された規定分量内の「自由研究論文」及び「研究ノート」の審査を行います。編集委員会では投稿された「自由研究論文」及び「研究ノート」を一つひとつ丁寧に読み、慎重かつ厳正に審査し、合議によって掲載の可否を決定します。

なお、既にご案内の通り、多様化する研究テーマに対応するため、「自由研究論文」及び「研究ノート」1 本ごとに委員以外の会員 1 名が査読に加わる場合があります。上記の審査は委員以外の査読者の査読意見も含めて行われます。

## □■□ 事務局より □■□

### 【役員選挙】

2023 年度役員選挙の投票を受け付けております。先日、選挙権を有する会員に投票用紙を送付いたしました。投票の締め切りは 11 月 17 日 (金) (必着) となっていますので、お忘れのないようお願いいたします。

### 【理事会報告】

2023 年度第 3 回理事会が、9 月 23 日 (日) にオンラインにて開催されました。

#### 〈報告事項〉

- 会員異動について  
退会、物故者について承認を行いました。
- 例会予定について  
今後の例会予定についての確認を行いました。

#### 〈審議事項〉

- 選挙について  
選挙日程及び会費納入状況が事務局より報告されました。
- 年次大会について  
大会の日時及び当日のスケジュールが確認され、承認されました。会場の使用や出欠の取り方などについても確認が行われました。  
シンポジウムのテーマ案について宮村理事より報告があり、承認されました。  
自由研究発表の司会は、過去の対面実施の方式と同様に、事前に決定することが確認されました。  
忘年会の集金は、忘年会会場にて行うこととなりました。
- 研究助成事業について  
期日までに 2 件の申請があり、審査委員会による審査の結果、助成が認められました。

助成対象者：岡澤 節 会員 (京都大学大学院・院生)

研究課題：主権者教育における学校と外部団体との効果的な連携のあり方について

助成対象者：山迫 花寧 会員 (京都大学大学院・院生)

研究課題：外国人児童生徒の指導・支援体制の充実に向けた遠隔教育についての検討

➤ **会員の例会発表の促進について**

新入会員の発表努力義務の周知方策について検討しました。例会に関する内規については、次回理事会までにさらに案をまとめることとなりました。

推薦者が内規の内容について新入会員に伝達することを求めることとし、そういった内容も内規において記載することとなりました。

例会報告の促進策として、会費の免除や相当額の研究推進費や交通費の交付などの案が出されたほか、例会形式の工夫などが提案され、こうした点についても次回の理事会にて検討を進めていくこととなりました。

**【会員異動】**

〈退会〉

榎 景子

〈物故者〉

伊藤 朋子

**【例会報告のお願い】**

例会報告をご希望の方は、例会担当の宮村理事、開沼理事もしくは事務局までご連絡をお願いします。

**【寄贈図書】**

下記の図書が寄贈されました。閲覧を希望される方は事務局までご連絡ください。

- 関西教育学会『関西教育学会研究紀要』第23号、2023年。
- 関西教育学会『関西教育学会年報』第47号、2023年。

**【会費納入のお願い】**

2023年度学会費を未納の方は、早急に納入をお願いいたします。一般会員は7,000円、学生会員は3,500円です。名誉会員については会費の納入は不要です。

会費の納入状況につきましては、遠慮なく事務局までお問い合わせください。

**郵便振替口座番号： 01000-8-34227      加入者名： 関西教育行政学会**

他の金融機関から当学会郵便振替口座へお振込みをしていただく際は、以下の振込用の店名・預金種目・口座番号・受取人名をご指定ください。

銀行名	ゆうちょ銀行
金融機関コード	9900
店番	109
店名(カナ)	一〇九店 (イチゼロキュウ店)
預金種目	当座
口座番号	0034227
カナ氏名 (受取人名)	カンサイキョウイクギョウセイガツカイ (全て大文字)

**【事務局からのお願い】**

**所属、住所、メールアドレス等**が変更になりましたら、お手数ですが事務局までご一報ください。

**【事務局の連絡先】**

住所：〒606-8501

京都市左京区吉田本町

京都大学大学院教育学研究科内

電話：075-753-3080

Mail：[kansaisea@gmail.com](mailto:kansaisea@gmail.com)